

## 函館中央病院は4月より「二次検査専門外来」を開設

二次検査対象者は少ない待ち時間での診察・検査が可能

### 石田 宏文

函館中央病院  
健康管理センター副センター長

### 北原 あづさ

函館中央病院  
健康管理センター係長

函館中央病院(本橋雅壽病院長)は、今年4月から「二次検査専門外来」を開設した。新しく設けられた専門外来について、健康管理センターの石田宏文副センター長と同センター係長で保健師の北原あづささんに話を聞いた。

#### 病院の各種健診は年間3万4千人を超える実績

同病院は昭和44年に健診事業を開始し、院内の高度医療機器を用いた施設内健診の「日帰り人間ドック」「1泊2日人間ドックコス」、「脳ドック」、また自治体や企業・事業所などに訪問して行う巡回バス健診などの各種健康診断の事業を積極的に行っている。平成28年度の受診者数は人間ドック3300人、脳ドック580人、



自治体・企業などの住民健診が2万5千人など、年間で3万4千人を超える実績がある。石田医師は「当院は道南圏で初めて北海道がん診療連携指定病院の指定を受けましたが、高度ながん診療のほかにも各種がん検診に力を入れています」と語る。北海

#### 病気の早期発見や早期治療のための二次検査

同病院では健康診断の結果を今後の健康管理に生かしていくために、健診後のサポートに力を入れているが、そのひとつが二次検査専門外来の開設だ。人間ドックや各種健康診断など同病院の健康診断を受けた人だけを対象としている。「二次検査の項目に合った採血等の検査を診察前に実施します。受診当日に検査結果を聞くことができるようにしてください」。

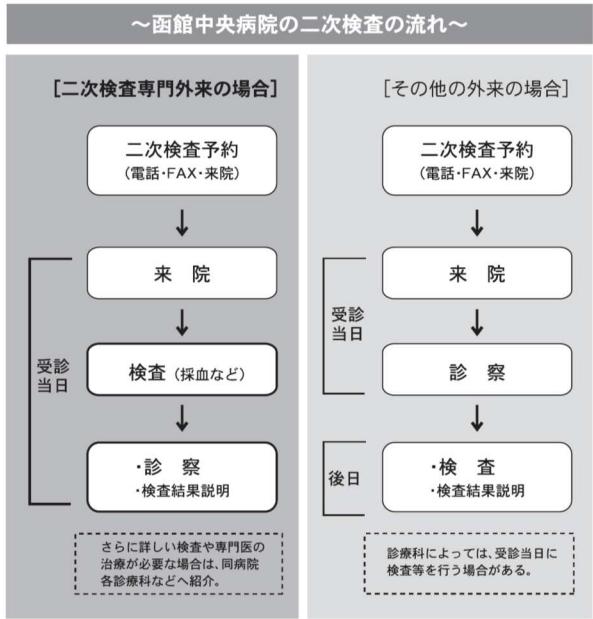
#### 保健師による二次検査受診の勧め

二次検査受診の勧めの各診療科の外来予約も可能で、二次検査の項目によつては、診察前に検査が実施できる体制になつています。健康診断を受けた後が病歴、生活背景などを考慮し判定する。同病院では、二次検査専門外来だけではなくその他の各診療

します。時間がない、症状がない等の理由で放置せず、病気の早期発見や早期治療のために必ず二次検査を受けることはとても重要です」。

健診の結果は医師が年齢や体重、検査結果によっては、受診当日検査等を行う場合がある。

二次検査専門外来の予約や問い合わせ等は同病院北棟4階の健康管理センターで受け付けています。問い合わせは、電話0138(5)2)1231へ。



二次検査を受けていない人に対しては、健康診断後の1ヵ月後と3ヵ月後に受診を勧める手紙を受診者の自宅へ送付している。また、健診後の各種検査結果によっては、緊急性が高い受診者に対しては、医師の指示により健診受診日の翌日に保健師から本人へ電話連絡を行っている。

二次検査専門外来はファックスや電話による予約が必要だ。「当日前に来院していただき、尿検査や採血などの検査を実施します。診査時にはそれらの検査結果が捕まっていますので、時間を有効に使うことができます」。



健康管理センター係長  
保健師の北原あづささん

ない待ち時間で効率よく診察や検査を受けることが可能となりました」。

二次検査専門外来を開設した背景には「病気は初期であればあるほど自覚症状はほとんどないことが多いが進行している場合が少なくなります。しかし、時間がないなどの理由で二次検査を受けずに放置する人が多い」というのが現状で、このような方が受けやすくなることを期待しています」。現在は日本人の4人に1人が心臓病や脳卒中などが原因で亡くなっている。生活習慣病の危険因子には肥満や高血圧、高血糖、脂質異常などがあるが、これらが3つ以上あると心臓病のリスクが高くなる。「危険因子はそれぞれの異常が軽度であっても、リスクが重なると動脈

検査を受けた場合、心臓病や脳卒中などのリスクが高くなる」と話す。北原さんによると、心臓病のリスクが高くなると、心臓病のリスクが高くなる。「危険因子はそれそれぞれの異常が軽度であっても、リスクが重なると動脈